

## 東京・北千住を歩く

北千住にある旧日光街道の「宿場町通り 北千住サンロード商店街」は、今も人通りがたえない。『東京人』創刊 25 周年特大号で、東京 23 区の最北端に位置する足立区・千住地域を次のように紹介する。「江戸四宿の一つの千住宿として交通の要所となったため、コメ、野菜、魚など近隣の産物が集まる取引場所としても栄えた。」



旧日光街道を東に行くと、青物市場「やっちゃ場跡」があり、昔をしのばせている。今も青果物卸売市場があり、「ちい散歩」という番組で見たことがある。その先には千住の魚河岸・足立市場があり、「食材の宝庫」と案内され



ていた。足立市場を過ぎると千住大橋である。日本百名橋と言われるだけあり、なかなか風格のある橋である。北詰の橋の下には、「千住大橋際歴史資料空館」なるものがあり、芭蕉の旅立ちや安藤広重の浮世絵が描かれている。ここは奥の細道「矢立初めの地」という。



北千住は宿場町の面影を残す下町であり、昔から交通の要所で取引場所としても栄えてきた。最近、つくばエクスプレスや日暮里・舎利ライナーが開通し、交通網の整備が進んでいる。先の『東京人』の座談会でも、陣内秀信さんが「外装が新しくブルーになった新宿発箱根行きの小田急ロマンスカーに、北千住始発ができたのには驚きました」と語っている。

(2010年1月1日 記)